

## クラウド基盤構築需要の拡大を背景に、比較企業の中でも相対的に高い利益成長率を計画

## サマリー

## ◆ 2026/9期Q2業績

日本ビジネスシステムズ（以下、JBSまたは同社）の26/9期Q2実績は、売上高が86,377百万円（前年同期比+37.8%）、営業利益が5,224百万円（同+15.9%）。売上高は、Q1にL&P事業\*においてソフトウェア関連の一時的な大口取引が発生したことで大幅な増収となった。営業利益は、CI事業\*における新規顧客獲得および既存顧客の深耕に伴う案件創出に加え、CS事業\*において高収益な専門人材による常駐支援とクラウドマネージドサービスを組み合わせたハイブリッドサービスが伸長したことで、増益を確保した。

## ◆ 2026/9期通期業績予想を上方修正

同社は決算に併せ26/9期会社計画の上方修正を発表した。修正後の会社計画は、売上高が前回計画比+40,000百万円の216,500百万円（前期比+25.4%）、営業利益が同+700百万円の9,100百万円（同+19.8%）と増額された。上方修正要因については、L&P事業における大口取引の影響を織り込んだ様子。CI事業およびCS事業においては計画通り既存顧客を中心に案件創出が順調に進展しているものとSIRは見ている。また、同社はQ1に固定資産売却益（452百万円）を計上したことを踏まえ、通期のROE予想を前回計画比+5.3ptの24.4%（前期比+1.8pt）と見直し、通期配当予想は45円→50円（配当性向32.2%）へ増額修正している。

## ◆ 株価インサイト

同社の株価は26/9期Q2決算発表後、業績予想の上方修正および増配を好感し、大きく上昇した。一方、26/9期の予想PERは11.2倍（5/15終値）と、依然として他社平均の14.9倍を下回る水準にある。2026年1月以降は、アンソロピック社を起点としたAI代替リスクへの懸念から、ITセクター全体で株価調整が進んだが、比較企業の26/3期決算を見ると、クラウドインフラ領域に強みを有する企業群を中心に引き続き高成長が計画されている。SIRでは、AI需要拡大に伴うクラウド基盤構築需要は依然堅調であると考えており、比較企業群の中でも高い利益成長率が計画されている同社は、相対比較の観点からも選好されやすいポジションにあると見ている。

(百万円、%、円)	売上高	YoY	営業利益	YoY	経常利益	YoY	当期利益	YoY	EPS	DPS
FY2023/9	112,800	30.7	4,192	3.5	4,349	2.3	3,350	26.6	73.96	20.00
FY2024/9	140,858	24.9	4,593	9.6	4,587	5.5	1,514	-54.8	33.23	25.00
FY2025/9	172,580	22.5	7,594	65.3	7,372	60.7	5,629	271.8	123.47	40.00
FY2026/9会予	216,500	25.4	9,100	19.8	9,000	22.1	7,000	24.3	155.40	50.00
FY2025/9 Q2	62,690	16.2	4,507	79.8	4,477	81.3	3,071	729.3	67.37	-
FY2026/9 Q2	86,377	37.8	5,224	15.9	5,222	16.6	4,271	39.1	94.82	-

出所：同社IR資料より SIR作成

注：SIRでの財務データ処理は短信規定と異なるため記載数字は会社資料と相違することがある。

\*CI：クラウドインテグレーション、CS：クラウドサービス、L&amp;P：ライセンス&amp;プロダクツ、エンジニアリングサービス：CI事業+CS事業の総称

## Q2 Follow-up



## 注目点：

導入から運用保守まで一貫通貫で提供するクラウドインテグレーター。L&P主体からエンジニアリングサービス主体への収益構造転換を図っており、利益創出力の向上が企業価値評価の転換点になり得る点に注目。

## 主要指標

株価 (5/27)	1,706
52週高値 (26/05/21)	1,924
52週安値 (25/08/12)	1,348
10年間高値 (22/11/16)	2,115
10年間安値 (24/8/5)	776
発行済株式数(百万株)	48.37
時価総額 (十億円)	82.51
EV (十億円・LTM)	93.22
株主資本比率 (LTM)	31.3%
25/9 ROE (実績)	22.6%
26/9 PER (会予)	11.0X
PBR (LTM)	2.86X
EV/EBITDA (LTM)	9.8X
26/9 DY (会予)	2.9%

## 株価チャート (1年)



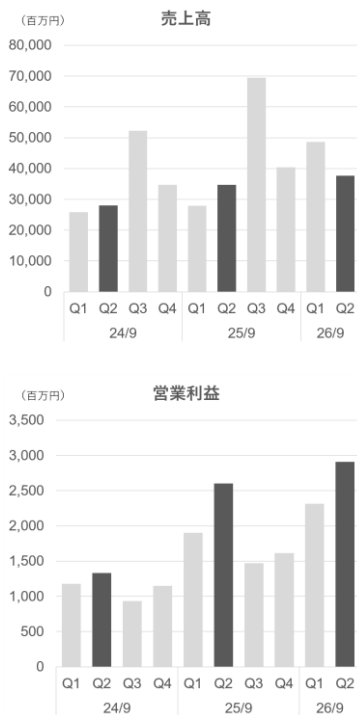
出所：TradingView

## チームカバレッジ

[research@sessapartners.co.jp](mailto:research@sessapartners.co.jp)

本レポートは当該企業からの委託を受けてSESSAパートナーズが作成しました。詳しくは巻末のディスクレーマーをご覧ください。

## 業績動向



### ◆ 2026/9期Q2業績は、各セグメントが好調に推移

26/9期Q2業績は、売上高が86,377百万円（前年同期比+37.8%）、営業利益が5,224百万円（同+15.9%）、親会社株主に帰属する当期純利益（以下、当期純利益）4,271百万円（同+39.1%）と好調に推移した。セグメント別の業績（外部売上高/セグメント利益）は以下の通り。

- CI事業が15,976百万円（前年同期比+12.9%）/3,252百万円（同+9.0%）
- CS事業が11,733百万円（同+10.4%）/2,113百万円（同+30.0%）
- L&P事業が58,662百万円（同+54.8%）/1,750百万円（同+17.0%）

売上高は、Q1にL&P事業においてソフトウェア関連の一時的な大口取引が発生したことに加え、エンジニアリングサービスにおいて、日系企業向けグローバル支援案件の獲得や、データ移行・活用支援案件が拡大したことから、大幅増収となった。営業利益は、CI事業における新規顧客獲得および既存顧客の深耕に伴う案件創出に加えて、CS事業においてハイブリッド型サービスが伸長したことで、増益を確保した。特にCI事業で獲得した案件において、CS事業で高収益な専門人材による常駐支援とクラウドマネージドサービスを組み合わせたハイブリッド型サービスへ展開できている点は注目される。CS事業の営業利益率18.0%（同+2.7pt）まで改善しており、ストック性の高い同事業における収益力向上が確認された点はポジティブである。

### ◆ 2026/9期通期業績予想の上方修正を発表

同社は26/9期会社計画の上方修正を発表した。修正後の会社計画は、売上高が前回計画比+40,000百万円の216,500百万円（前期比+25.4%）、営業利益が同+700百万円の9,100百万円（同+19.8%）と増額された。上方修正要因については、Q1のL&P事業における大口取引の影響を織り込んだ様子で、次頁の業績表にある修正前計画と今回計画を比べるとL&P事業のみ増額修正されていることが分かる。

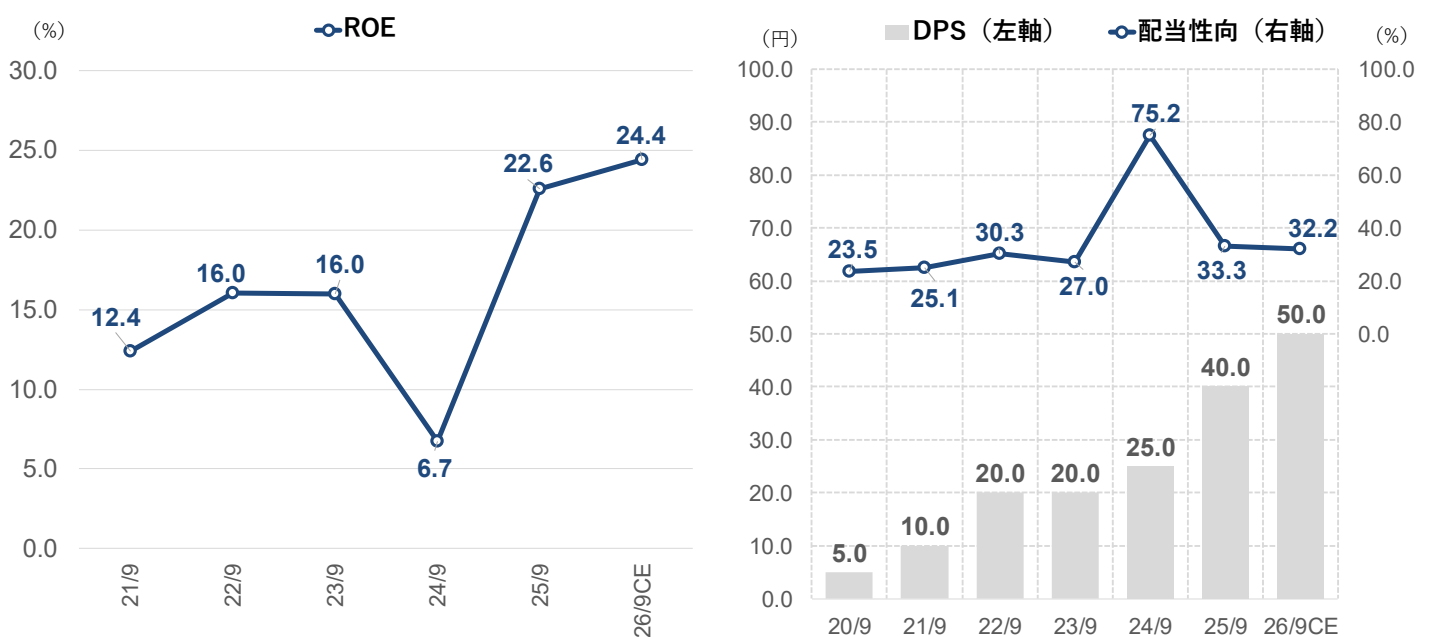
足元では、CI事業およびCS事業において計画通り既存顧客を中心に案件創出が順調に進展していることに加え、クラウド活用需要の拡大を背景にL&P事業の需要も想定以上に推移している状況にある。今回の上方修正は、こうした需要環境の強さを反映したものとみられる。また、同社は業績予想の修正に加え、Q1に固定資産売却益（452百万円）を計上したことを踏まえ、通期のROE予想前回計画比+5.3ptの24.4%（前期比+1.8pt）と見直している。加えて、通期配当予想は45円→50円（配当性向32.2%）へ増額修正されている。

同社は28/9期を最終年度とする中期経営目標として、売上高190,000百万円、営業利益12,000百万円を掲げ、収益性の高いエンジニアリングサービス（CI事業+CS事業）を中心に伸ばし、営業利益率を25/9期比+1.9ptの6.3%まで引き上げ、ROEは20%を確保する計画としている。26/9期は中計初年度であるが、L&P事業が想定以上に伸び、CI事業とCS事業は同社の計画通りに推移していると見られる。

通期・四半期の業績推移および会社計画

項目	単位	24/9	25/9	26/9CE		25/9				26/9	
				修正後	修正前	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
売上高	百万円	140,858	172,580	216,500	176,500	27,920	34,770	69,420	40,470	48,687	37,690
前期比	%	24.9	22.5	25.4	2.3	7.9	23.9	33.0	16.6	74.4	8.4
クラウドインテグレーション	百万円	23,593	27,736	32,000	32,000	6,474	7,677	6,410	7,175	7,408	8,568
前期比	%	2.5	17.6	15.4	15.4	14.5	28.4	15.7	11.8	14.4	11.6
構成比	%	16.7	16.1	14.8	18.1	23.2	22.1	9.2	17.7	15.2	22.7
クラウドサービス	百万円	18,922	21,890	24,500	24,500	5,194	5,435	5,400	5,861	5,840	5,893
前期比	%	23.0	15.7	11.9	11.9	18.2	17.1	13.8	14.0	12.4	8.4
構成比	%	13.4	12.7	11.3	13.9	18.6	15.6	7.8	14.5	12.0	15.6
ライセンス&プロダクツ	百万円	98,330	122,941	160,000	120,000	16,248	21,655	57,609	27,429	35,434	23,228
前期比	%	32.2	25.0	30.1	-2.4	2.6	24.2	37.4	18.5	118.1	7.3
構成比	%	69.8	71.2	73.9	68.0	58.2	62.3	83.0	67.8	72.8	61.6
売上総利益	百万円	14,567	17,863	21,500	20,800	4,247	5,101	4,242	4,273	5,155	5,694
売上比	%	10.3	10.4	9.9	11.8	15.2	14.7	6.1	10.6	10.6	15.1
販売管理費	百万円	9,974	10,268	12,400	12,400	2,345	2,496	2,772	2,655	2,842	2,783
売上比	%	7.1	5.9	5.7	7.0	8.4	7.2	4.0	6.6	5.8	7.4
営業利益	百万円	4,593	7,594	9,100	8,400	1,902	2,605	1,470	1,617	2,313	2,911
前期比	%	9.6	65.3	19.8	10.6	61.7	95.7	57.1	40.6	21.6	11.7
売上比	%	3.3	4.4	4.2	4.8	6.8	7.5	2.1	4.0	4.8	7.7
クラウドインテグレーション	百万円	2,985	5,036	5,820	5,820	1,155	1,827	789	1,265	1,341	1,911
前期比	%	-15.6	68.7	15.6	15.6	64.3	102.8	69.7	38.1	16.1	4.6
売上比	%	12.7	18.2	18.2	18.2	17.8	23.8	12.3	17.6	18.1	22.3
クラウドサービス	百万円	2,854	3,290	4,480	4,480	826	799	689	976	1,014	1,099
前期比	%	43.9	15.3	36.2	36.2	24.2	-3.9	16.4	27.4	22.7	37.5
売上比	%	15.1	15.0	18.3	18.3	15.9	14.7	12.8	16.7	17.4	18.6
ライセンス&プロダクツ	百万円	2,417	2,841	2,850	2,150	708	789	1,064	280	879	871
前期比	%	18.2	17.5	0.3	-24.3	21.6	96.8	9.5	-39.4	24.1	10.4
売上比	%	2.5	2.3	1.8	1.8	4.4	3.6	1.8	1.0	2.5	3.7
調整額	百万円	-3,663	-3,573	-4,050	-4,050	-787	-810	-1,072	-904	-921	-970
経常利益	百万円	4,587	7,372	9,000	8,200	1,949	2,528	1,338	1,557	2,350	2,872
前期比	%	5.5	60.7	22.1	11.2	69.2	91.8	34.1	39.1	20.6	13.6
売上比	%	3.3	4.3	4.2	4.6	7.0	7.3	1.9	3.8	4.8	7.6
当期純利益	百万円	1,514	5,629	7,000	5,850	1,339	1,732	901	1,657	1,936	2,335
前期比	%	-54.8	271.8	24.4	3.9	96.9	-	577.4	63.9	44.6	34.8
売上比	%	1.1	3.3	3.2	3.3	4.8	5.0	1.3	4.1	4.0	6.2

ROE（左図）・DPSおよび配当性向（右図）の推移



出所：同社IR資料よりSIR作成

注目点

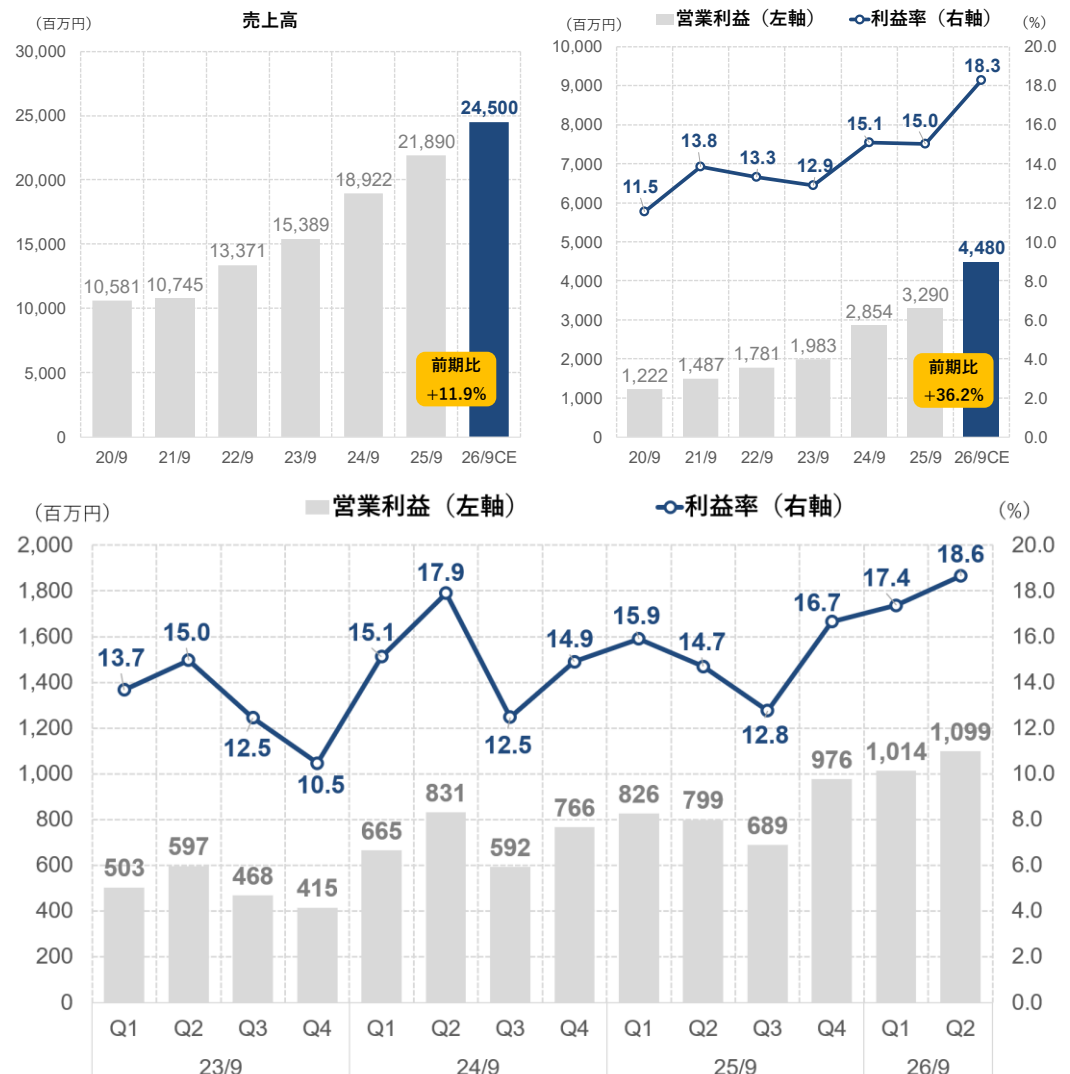
◆ストック性の高いCS事業の利益率改善が進展

SIRでは、CS事業の営業利益率が改善している点に注目している。同事業は、CI事業で獲得した案件に対し、常駐を中心とした運用支援を行うストック型ビジネスである。足元では、ハイブリッド型サービスが伸長してきている点が特徴。

具体的には、取引関係の長い既存顧客を中心に、従来の常駐型支援から、リモート環境を活用した効率的な運用支援に拡張している。専門人材による常駐支援とクラウドマネージドサービスを組み合わせることで、運用効率や採算性が向上しているものと見られる。また、リモート環境下ではセキュリティ監視等のニーズも発生しており、同社の支援領域がより包括的に広がっている点も注目される。同社は既存顧客の深耕を重視する方針を掲げており、このような効率化を背景とした利益率改善効果については一定の継続性が期待される。

また、CS事業はストック性が高い特徴を有しており、同事業の利益率改善は、1) 将来の利益成長確度の向上、2) L&P事業の大型案件有無に左右されにくい安定的な利益成長基盤の強化、等に繋がる点でポジティブな収益構造転換であるとSIRは考える。

CS事業の通期・四半期業績推移



出所：同社IR資料よりSIR作成

◆ AI需要拡大を背景に、クラウド基盤構築需要は拡大基調が続こう

SIRでは、2026年1月にアンソロピック社を起点としたAI代替リスクへの懸念から、IT業界全体で株価調整が進んだと認識している。一方、足元では26/3期決算が出揃ったタイミングでもあり、同社を含む比較企業13社の決算を見ると、今期は全社で増収増益が計画されている点は注目できよう。全社合計の売上高が前年比+8.7%、営業利益が同+7.9%の成長が計画されており、少なくとも現時点ではAIによる需要減速は限定的であるとSIRは考える。

さらに注目されるのは、2桁増収を計画している企業群として、JBS、コムチュア、テラスカイ、システムサポート、サーバーワークス、電通総研など、クラウドインフラ領域に強みを有する企業が多い点である。これは、Q1フォローアップレポートでも記載した通り、AI需要の拡大に伴い、高度な演算処理負荷に対応可能なクラウド基盤構築需要が拡大していることを示唆しているとSIRは考える。

アンソロピック社を起点としたAIブームは、一部SI領域におけるAI代替リスクを意識させる事象となった一方、ITインフラ領域においては、AI需要拡大に伴うクラウド基盤構築需要を享受できる立場にある点が特徴と言えよう。中でも、JBSは今期比較企業群の中で最も高い増収率を計画しており、相対的に強い需要を確保できているとSIRは考える。

四半期の売上高・営業利益および進行期会社計画の前年比推移

コード	企業名	CY2024				CY2025				CY2026	会社計画
		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	
<b>売上高</b>											
5036	JBS	19.6	46.3	13.9	7.9	23.9	33.0	16.6	74.4	8.4	25.4
2317	システナ	-1.9	5.4	8.3	4.3	16.4	14.2	20.0	12.8	5.6	3.8
2327	日鉄ソリューションズ	6.6	11.7	5.0	11.1	8.3	7.6	19.9	15.9	8.1	9.4
3626	TIS	4.5	3.6	2.5	2.7	7.5	4.7	4.7	4.8	3.3	3.9
3844	コムチュア	15.4	8.1	4.4	6.1	6.8	2.3	7.2	3.5	6.2	10.2
3915	テラスカイ	30.0	33.5	33.5	24.6	25.9	13.7	9.7	13.4	17.1	22.4
4396	システムサポート	14.7	12.0	22.3	23.3	24.7	18.9	22.1	16.3	5.3	19.0
4434	サーバーワークス	44.5	46.7	31.3	21.6	23.5	6.8	9.9	16.0	14.9	17.9
4812	電通総研	6.7	5.9	7.3	8.2	8.5	7.7	7.7	8.2	8.9	10.4
8056	BIPROGY	1.2	10.6	4.9	8.5	12.1	9.6	10.9	9.1	1.7	8.4
9682	DTS	1.5	8.2	3.0	11.5	12.4	13.9	9.9	0.8	5.7	5.0
9759	NSD	25.5	5.3	1.7	10.2	8.7	8.0	9.5	10.2	9.4	6.9
9889	JBCCホールディングス	4.6	10.8	6.6	1.6	9.8	1.3	7.9	14.7	11.9	4.6
<b>各社合計</b>		<b>6.3</b>	<b>11.2</b>	<b>5.7</b>	<b>7.6</b>	<b>10.9</b>	<b>10.3</b>	<b>10.9</b>	<b>12.6</b>	<b>5.6</b>	<b>8.7</b>
<b>営業利益</b>											
5036	JBS	22.8	100.0	-24.0	61.7	95.7	57.1	40.6	21.6	11.7	19.8
2317	システナ	-5.1	38.4	19.2	18.2	24.7	33.0	39.1	26.4	13.5	3.9
2327	日鉄ソリューションズ	24.3	33.9	15.5	32.5	-23.9	-3.7	5.1	11.0	48.7	7.4
3626	TIS	-5.0	-1.7	2.3	6.9	18.7	16.3	16.7	4.8	6.3	6.3
3844	コムチュア	13.2	-7.6	9.0	-4.4	4.1	9.1	1.9	-13.1	7.2	0.8
3915	テラスカイ	376.5	207.6	153.5	451.0	111.3	6.4	-0.8	-26.3	34.6	62.9
4396	システムサポート	19.6	-4.7	9.0	60.9	36.7	9.0	31.3	29.5	14.9	28.1
4434	サーバーワークス	185.1	207.6	-33.0	-30.0	39.3	6.4	-	23.4	5.6	109.5
4812	電通総研	1.4	-7.5	-16.2	20.1	0.4	6.1	36.9	0.5	14.0	11.4
8056	BIPROGY	-8.8	12.8	5.2	-3.7	51.9	30.3	12.4	24.6	-11.8	13.6
9682	DTS	-15.5	13.7	1.9	11.2	39.0	26.0	24.5	9.3	-1.1	3.4
9759	NSD	21.7	-2.4	6.0	23.9	15.1	7.9	10.7	21.3	11.2	2.2
9889	JBCCホールディングス	19.5	34.9	44.0	29.3	50.8	16.1	10.7	20.0	29.3	19.7
<b>各社合計</b>		<b>2.8</b>	<b>10.7</b>	<b>4.7</b>	<b>15.1</b>	<b>17.2</b>	<b>15.0</b>	<b>16.1</b>	<b>11.2</b>	<b>10.1</b>	<b>7.9</b>

出所：各社IR資料よりSIR作成、注：テラスカイとサーバーワークスは2月期決算企業ため、対象期間が一部異なる

株価動向

株価インサイト | 需要環境・利益成長率の観点から相对妙味

< 株価動向 >

同社の株価は、26/9期Q2決算発表後、業績予想の上方修正および増配を好感し、大きく上昇した。2026年1月以降は、アンソロピック社を起点としたAI代替リスクへの懸念から、SaaS企業を中心としてITセクター全体が調整局面を迎えている。一方で、同社株価は、こうした市場環境下でも相対的に堅調に推移しており、SIRのスクリーニング対象企業の中で、最も高い株価パフォーマンスとなっている。

特に、同社はCI事業およびCS事業を中心に既存顧客深耕による案件創出が順調に進展しているほか、L&P事業もクラウド需要拡大を背景に好調を維持しており、ITセクター全体のセンチメント悪化局面においても、業績成長の確度が相対的に高い企業として評価を集めているものとSIRでは見ている。

< バリュエーション >

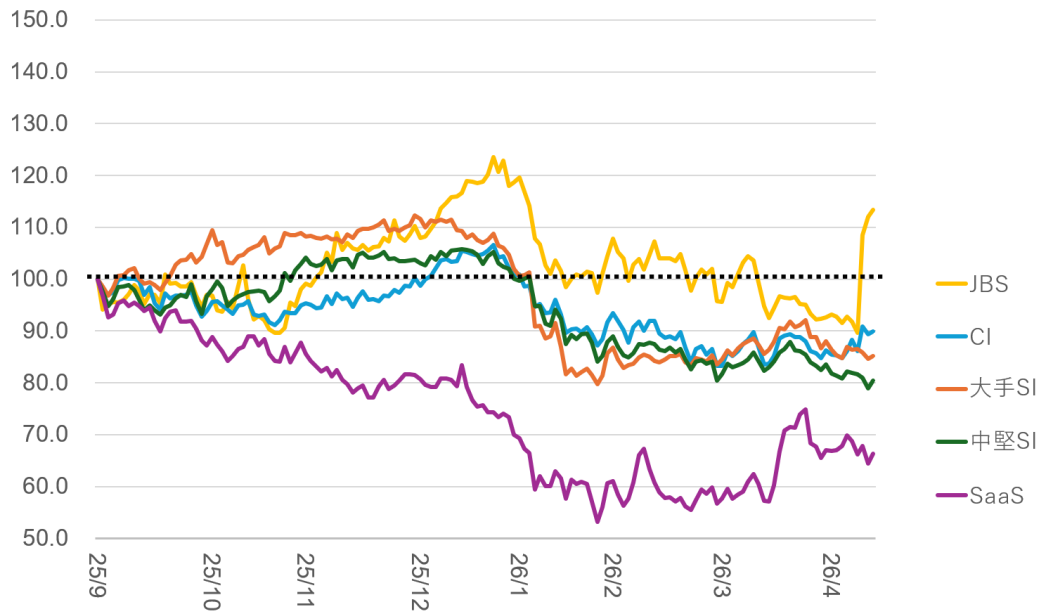
上述した通り26/9期Q2決算後に株価は大きく上昇したが、同社の26/9期の予想PERは11.2倍（5/15終値）と、依然として他社平均の14.9倍を下回る水準にある。一方、同社の26/9期EPS成長率は前期比+25.9%と、他社平均の同+9.1%を大きく上回る見通しとなっている。比較企業群の26/3期決算を見ると、クラウドインフラ領域に強みを有する企業群を中心に引き続き高成長が計画されており、ITセクター全体の株価水準が低迷する中でも、同社株価は相対的に堅調に推移している。業績モメンタムの観点から、引き続き相対比較で評価を得やすいポジションにあると考えられる。また、同社は26/9期～28/9期の中期経営計画において、営業利益CAGR+16.5%を計画しているが、26/9期は業績予想の上方修正もあり、中計成長率を上回るペースで推移している状況にある。こうした中長期的な利益成長力を踏まえると、同社株価はPEGレシオの観点でも一般的に割安とされる1倍未満の水準に留まっており、業績成長力に対して株価評価が追い付いていない局面とSIRでは見ている。

日本ビジネスシステムズの長期株価チャート



出所：SPEEDAよりSIR作成

サブセクター別の株価パフォーマンス（2025年9月末=100）



出所：SPEEDAよりSIR作成

注：サブセクターの構成銘柄は以下の通り

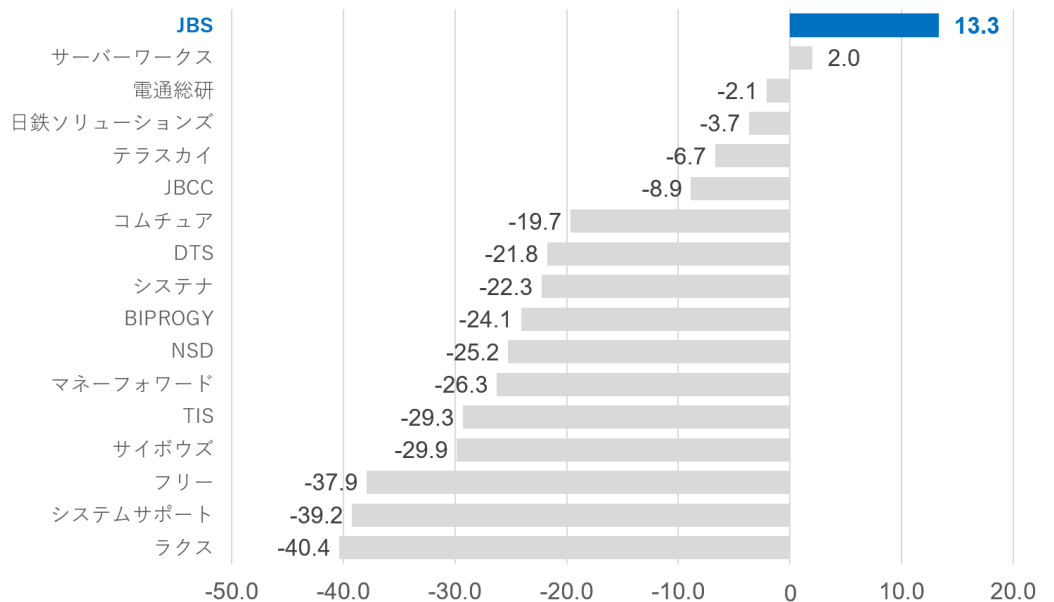
大手SI：日鉄ソリューションズ (2327)、TIS (3626)、電通総研 (4812)、BIPROGY (8056)

中堅SI：システナ (2317)、DTS (9682)、NSD (9759)、JBCCホールディングス (9889)

CI：コムチュア (3844)、テラスカイ (3915)、システムサポートHD (4396)、サーバーワークス (4434)、JBS (5036)

SaaS：ラクス (3923)、マネーフォワード (3994)、freee (4478)、サイボウズ (4776)

個別銘柄の株価当落率（2025年9月末～2026年5月15日終値）



出所：SPEEDAよりSIR作成

CI・中規模および大規模SI銘柄のバリュエーション

コード	企業名	決算月	株価 (5/15) 円	発行済 株式数 百万株	時価総額 (5/15) 十億円	PER			EPS成長率			営業利益率		
						FY24 倍	FY25 倍	FY26E 倍	FY24 %	FY25 %	FY26E %	FY24 %	FY25 %	FY26E %
5036	日本ビジネスシステムズ	9月	1,734	48.4	83.9	30.9	12.4	11.2	-55.1	271.6	25.9	3.3	4.4	4.2
	各社平均					21.1	16.9	14.9	28.9	38.6	9.1	10.0	10.3	10.6
2317	システナ	3月	412	425.9	175.5	15.6	13.0	13.9	24.1	36.6	-6.0	14.4	16.3	16.3
2327	日鉄ソリューションズ	3月	3,476	183.0	636.1	25.9	21.7	20.1	11.6	14.0	2.5	11.4	11.6	11.4
3626	TIS	3月	3,453	228.4	788.7	19.2	16.4	12.7	5.8	-4.7	32.6	12.1	12.8	13.1
3844	コムチュア	3月	1,304	32.2	42.0	16.6	14.0	12.9	0.8	3.9	-1.7	12.7	12.2	11.2
3915	テラスカイ	2月	1,921	12.9	24.8	28.2	14.7	16.3	238.1	54.3	-3.0	5.9	5.6	7.4
4396	システムサポート	6月	1,033	20.8	21.5	16.0	19.1	11.7	21.2	19.6	25.1	7.6	8.2	8.9
4434	サーバーワークス	2月	2,024	7.9	16.0	27.5	-	17.2	5.4	-	-	3.0	1.6	2.8
4812	電通総研	12月	2,118	195.5	414.2	25.2	32.7	23.0	3.1	8.3	10.0	13.8	13.9	14.0
8056	BIPROGY	3月	4,584	99.0	453.6	16.8	14.4	13.7	8.6	17.6	4.0	9.7	9.8	10.3
9682	DTS	3月	1,025	164.0	168.1	15.7	14.1	13.7	50.6	15.0	2.8	11.5	12.2	12.0
9759	NSD	3月	2,600	86.0	223.6	21.8	16.1	15.0	15.2	11.0	1.9	15.6	16.2	15.5
9889	JBCCホールディングス	3月	1,192	71.1	84.7	14.8	13.8	12.0	45.9	16.4	15.4	8.8	9.6	11.0

コード	企業名	決算月	PBR			ROE			自己資本比率			ネットキャッシュ比率		
			FY23 倍	FY24 倍	FY25 倍	FY23 %	FY24 %	FY25 %	FY23 %	FY24 %	FY25 %	FY23 %	FY24 %	FY25 %
5036	日本ビジネスシステムズ	9月	2.47	2.06	2.56	16.0	6.7	22.6	44.8	37.3	36.4	-14.1	-26.3	-27.9
	各社平均		3.06	2.98	2.88	15.3	15.9	19.2	61.0	59.5	58.5	26.3	25.3	22.3
2317	システナ	3月	2.77	3.97	3.73	20.0	24.0	31.4	70.5	62.7	64.9	53.0	39.2	42.2
2327	日鉄ソリューションズ	3月	1.91	2.69	2.40	11.1	10.9	11.4	63.2	62.0	66.9	27.8	45.8	26.1
3626	TIS	3月	2.47	2.80	2.28	16.0	15.3	14.0	59.5	61.5	58.9	12.5	8.4	9.5
3844	コムチュア	3月	3.84	2.85	2.29	19.7	17.9	17.0	71.7	72.1	74.6	50.9	49.5	39.3
3915	テラスカイ	2月	1.79	2.60	1.84	2.9	9.2	13.3	60.2	56.9	56.5	29.2	32.4	36.3
4396	システムサポート	6月	5.35	3.88	4.65	26.8	26.7	26.3	46.5	50.9	44.1	28.9	33.7	29.5
4434	サーバーワークス	2月	3.04	1.63	1.57	6.3	6.1	-	59.0	55.9	48.0	37.6	29.5	29.3
4812	電通総研	12月	4.58	4.17	5.34	18.7	17.4	17.1	62.2	61.9	60.7	4.2	4.3	5.1
8056	BIPROGY	3月	2.74	2.66	2.49	16.5	16.1	17.9	53.0	51.1	47.0	12.3	13.3	-1.0
9682	DTS	3月	2.77	2.77	2.58	11.8	17.7	19.2	73.4	72.2	74.5	45.8	37.2	34.9
9759	NSD	3月	3.67	3.79	2.82	17.5	18.2	18.4	72.2	74.5	75.7	27.8	28.2	31.7
9889	JBCCホールディングス	3月	2.39	2.83	2.91	15.5	20.3	21.8	56.9	54.4	52.5	26.6	34.2	35.3

コード	企業名	決算月	配当性向			配当利回り			総還元性向			DOE		
			FY24 %	FY25 %	FY26E %	FY24 %	FY25 %	FY26E %	FY23 %	FY24 %	FY25 %	FY23 %	FY24 %	FY25 %
5036	日本ビジネスシステムズ	9月	75.2	33.3	32.2	2.43	2.61	2.88	27.2	75.2	33.3	4.10	5.01	6.91
	各社平均		40.8	42.3	42.3	2.11	2.54	2.96	47.6	67.6	64.7	5.78	6.69	7.34
2317	システナ	3月	51.8	44.2	60.5	3.32	3.39	4.37	52.5	169.2	44.4	9.97	13.72	12.68
2327	日鉄ソリューションズ	3月	50.1	50.4	50.4	1.93	2.32	2.50	32.3	50.3	50.4	3.28	5.18	5.57
3626	TIS	3月	32.6	39.0	33.1	1.69	2.38	2.61	98.0	48.5	158.5	4.26	4.77	5.53
3844	コムチュア	3月	48.4	48.5	51.3	2.91	3.46	3.99	46.8	48.4	49.3	8.72	8.29	7.90
3915	テラスカイ	2月	0.0	13.3	14.4	0.00	0.90	0.88	0.0	0.0	13.1	0.00	0.00	1.64
4396	システムサポート	6月	33.8	35.4	35.0	2.11	1.85	3.00	32.8	33.8	53.7	8.02	8.19	8.55
4434	サーバーワークス	2月	0.0	-	25.4	0.00	1.21	1.48	0.1	0.0	-	0.00	0.00	1.90
4812	電通総研	12月	46.5	47.7	48.8	1.85	1.46	2.12	44.4	46.6	51.3	7.86	7.72	7.80
8056	BIPROGY	3月	40.3	40.5	42.0	2.40	2.81	3.05	39.8	81.6	72.5	6.04	6.39	7.05
9682	DTS	3月	50.0	50.7	50.7	3.18	3.60	3.71	96.6	152.5	72.1	7.12	8.97	9.28
9759	NSD	3月	56.6	56.3	55.8	2.60	3.50	3.73	70.5	70.8	71.4	8.87	9.87	9.88
9889	JBCCホールディングス	3月	45.5	48.6	50.2	3.04	3.52	4.19	77.3	102.5	105.8	6.92	8.81	10.71

出所：各社IR資料よりSIR作成

注：FY26の数値は会社計画ベースの数値、総還元性向の自社株買いは財務CFの数値を使用、ネットキャッシュ比率は総資産に対する割合を示す。

## ディスクレーマー／免責事項

本レポートは対象企業についての情報を提供することを目的としており投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載されたデータ・情報は弊社が信頼できると判断したのですが、その信憑性、正確性等について一切保証するものではありません。

本レポートは当該企業からの委託に基づきSESSAパートナーズが作成し、対価として報酬を得ています。SESSAパートナーズの役員・従業員は当該企業の発行する有価証券について売買等の取引を行っているか、または将来行う可能性があります。そのため当レポートに記載された予想や分析は客観性を伴わないことがあります。本レポートの使用に基づいた商取引からの損失についてSESSAパートナーズは一切の責任を負いません。当レポートの著作権はSESSAパートナーズに帰属します。当レポートを修正・加工したり複製物の配布・転送は著作権の侵害に該当し固く禁じられています。



**SESSAパートナーズ株式会社**

東京都港区麻布十番2-8-14 i-o Azabu 5a  
[info@sessapartners.co.jp](mailto:info@sessapartners.co.jp)